

ふじのくに 静岡みなと通信

vol. 18
夏9号
2012.7.12



「ふじのくに田子の浦みなと公園」のシンボル「万葉歌碑」

～目次～

- 静岡みなと通信「夏9号」発行に
寄せて(御前崎市長)……………1
- 静岡県港湾振興会の活動報告……………1
- 「平成24年度港湾関係予算の
概要」……………2
- 「津波への新たな取り組み」……………5
- みなとニュース……………7
- みなとの自慢[伊東港]……………11
- 港こぼれ話……………13
- 港湾関係行事予定……………15



外国客船「コロバス」清水港初入港

静岡みなと通信「夏9号」発行に寄せて



静岡県港湾振興会副会長
御前崎市長 石原 茂雄



本県は全国でもトップクラスの製造品出荷額を誇り、港は本県の産業を支える重要な社会基盤であるとともに、地域の生活、産業活動等の拠点となっております。また、東海地震の発生が危惧される中、災害時には陸上ルートに代わり住民の避難援助や救援、緊急物資の搬入等、港が担う役割は極めて大きく、先の東日本大震災の教訓を生かした災害に強い港湾、海岸整備が望まれています。

昨年、開港40周年を迎えた御前崎港につきましては、西埠頭コンテナターミナルにおきまして、16列5段積み対応のコンテナクレーン新2号機が供用開始され、今夏には1号機の更新も予定されており、船舶の大型化や効率的な荷役作業に対応できるようになります。

また、更なる利用促進や指定管理者制度の導入など「民の視点」による港湾経営の推進に取り組んでおります。

私は、港の活力アップが地域発展の核であると強く認識しており、今後も積極的にポートセールス活動を推進していく所存です。

私達「静岡県港湾振興会」は、今後も一致団結して港湾整備を進めるとともに、港湾の大切さを一人でも多くの皆様にご理解いただけるよう積極的に活動してまいります。皆様方におかれましても、港湾の利用促進に一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



御前崎港西埠頭コンテナターミナル

静岡県港湾振興会の活動報告

日本港湾協会の平成24年度通常総会に出席

平成24年5月23日、山口県の周南市文化会館で日本港湾協会の総会が開催され、当振興会からは石原副会長（御前崎市長）、清水焼津市長をはじめ、16名が出席しました。

総会では、日本港湾協会創立90周年記念事業のひとつとして、港湾特別功労者表彰式が行われ、小嶋 善吉様（元静岡市長）が受賞されました。

また、港湾功労者表彰式では、村松 俊男様（キュウメートル（株）執行役員事業本部長）、川福 茂様（若築建設（株）名古屋支店静岡営業所長）が受賞されました。



通常総会

平成24年度

港湾関係予算の概要

交通基盤部では、災害に強い地域基盤の整備、交流を支えるネットワークの充実及び陸・海・空の交通ネットワーク機能の拡充を目指し、「活力・交流」「安心・安全」「環境・景観」の基本方針に基づいて、良質な社会資本整備を重点的・効果的に実施する予算を編成しました。

県の平成24年度当初予算は、「駿河湾港」である清水港、田子の浦港、御前崎港の連携を深めて国際競争力を強化するとともに、地方港湾の整備により地域産業の活性化を図る一方、防潮堤などの海岸保全施設の早期整備を推進し防災機能を強化してまいります。

また、財政健全化の推進に取り組むとともに、民間活力の導入、コスト縮減なども引き続き推進してまいります。

港湾関係事業の重点施策と主要事業

：【活力・交流】～活力・交流の基盤となる陸・海・空のネットワーク形成～

◎国際海上コンテナターミナルの整備

- コンテナターミナルの大水深岸壁(-15m)、防波堤、泊地(-15m)の整備を行います。 18億6,000万円

【港湾改修事業(国直轄施工)】清水港 新興津地区第2バース

- コンテナターミナル背後のふ頭用地整備、都市再開発用地の造成、コンテナクレーンの整備を行います。

31億8,600万円

【起債事業[ふ頭用地整備、臨海部土地造成、荷役機械整備]】清水港 新興津地区第2バース



清水港新興津地区整備状況
(写真提供:清水港湾事務所)



新興津地区-15m岸壁整備状況
(写真提供:清水港湾事務所)

◎国際物流ターミナルの整備

- 港内の静穏度を向上させる防波堤を整備します。 7億3,000万円

【港湾改修事業(国直轄施工)】御前崎港 女岩地区

- 船舶の大型化に対応した免震型コンテナクレーンを整備します。 7億5,200万円

【起債事業(荷役機械整備)】御前崎港 女岩地区



御前崎港全景(写真提供:清水港湾事務所)



御前崎港コンテナクレーン整備状況

- 船舶の大型化に対応するため、泊地や航路の水深を深くします。 21億円
【港湾改修事業(国直轄施工)】田子の浦港 港内地区
- 埠頭用地の舗装や上屋の耐震補強などの整備を行います。 2億500万円
【起債事業(埠頭用地整備、上屋整備)】田子の浦港
- 泊地の浚渫や臨港道路などを整備します。 1億112万円
【港湾改修事業】田子の浦港 港内地区・中央地区



田子の浦港全景(写真提供:清水港湾事務所)



臨港道路7号線の整備状況(田子の浦橋架け替え状況)

- 港内の底質に含まれるダイオキシン類を除去し、生活環境の改善を図ります。 9億5,000万円
【公害防止対策事業】田子の浦港



田子の浦港泊地浚渫状況(写真提供:清水港湾事務所)

◎競争力のある、使いやすい港づくり

- 港湾競争力の向上を図るため、ポートセールス・ポートセミナーの開催や港湾使用料の減免措置(インセンティブ)の導入などを行います。 3,283万円
【港湾企画振興費】清水港、御前崎港
- 利用促進体制の構築や地域振興戦略の検討を行います。 500万円
【港湾調査】御前崎港

◎地域連携・観光振興等を通じた地域の活性化

- 不足している物揚場の整備を進め、地域産業の振興を図ります。 8,500万円
観光や水産業などの地域産業の振興や地域経済の活性化を図る「みなとまちづくり」を推進します。
【港湾改修事業】下田港
- 岸壁や臨港道路、跨線橋、船揚場などの改良を行います。 1億1,100万円
【港湾改修事業】田子の浦港、熱海港、伊東港、下田港、松崎港、沼津港、浜名港



下田港整備状況



浜名港物揚場整備状況

- 放置艇を収用する物揚場の整備が完了します。 1億6,000万円
【港湾改修事業】浜名港
- 港振興に取り組む地元市と協調し、小型船だまりの整備を行います。 1億3,500万円
【港湾改修事業】清水港 新興津地区

【安全・安心】～地震災害対策の推進、風水害対策の推進～

- 避難船舶を守り、津波低減効果が期待できる防波堤の整備を行います。 11億7,000万円
【港湾改修事業(国直轄施工)】下田港
- 津波や台風などによる高潮・高波から、生命財産を守る防潮堤などや津波避難施設を整備します。また、水門や陸開を遠隔化・自動化に改良して、一元管理できるようにします。 5億8,520万円
【海岸保全(高潮対策)事業】清水港海岸、御前崎港海岸、沼津港海岸



下田港津波対策(写真提供:清水港湾事務所)

【安全・安心】～安全社会を目指す総合的な交通安全対策の推進～

- 小型船舶等が利用する係留施設を補修します。 4,000万円
【港湾改修事業】清水港 三保地区

【環境・景観】～自然との共生の推進～

- 海岸の背後に、親水広場や高台などを整備します。 6,900万円
【海岸環境整備事業】熱海港、榛原港



熱海港海岸多賀地区の利用状況

【環境・景観】～美しい景観の保全と創造～

- 港湾を訪れる人々や地域の皆様が利用する快適な広場・公園の整備を行います。 2億5,919万円
【港湾環境整備事業 実施箇所】清水港、田子の浦港



田子の浦港富士緑地の利用状況

津波への 新たな取組み

1 3月11日東北地方太平洋沖地震の衝撃

静岡県では、昭和51年の東海地震説の発表以来、地震の規模がマグニチュード8程度の東海地震発生を想定し対策を進めてきました。具体的には、沿岸では1854年安政東海地震と同様の津波高5～6m、高いところでは最大10m程度の津波が襲来することや、駿河湾内では地震発生後数分で津波の第一波が襲来することを想定しています。

平成23年3月11日に発生した、日本の地震観測史上最大のマグニチュード9.0という東北地方太平洋沖地震では、大津波が東北・北関東の沿岸部各地に未曾有の津波被害をもたらしたことを踏まえ、静岡県では地震発生から約1ヵ月後の4月中旬に、これまでの想定をはるかに超える大津波に対処するため「静岡県津波対策検討会議」を設置しました。

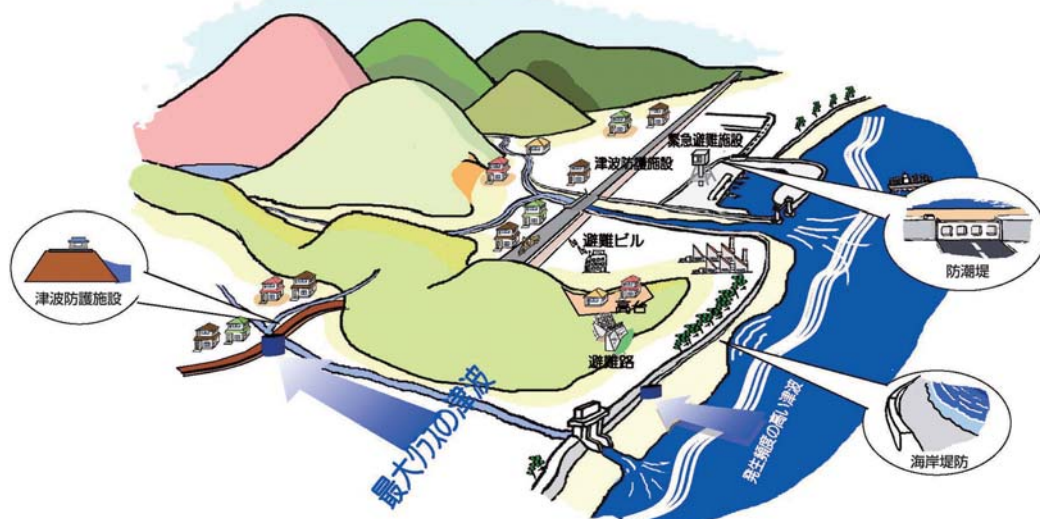
2 2種類の津波への対応

このような中、今年に入って3月31日に「南海トラフの巨大地震モデル検討会」（内閣府主催）で南海トラフの巨大地震の震度分布及び津波高の推計結果が公表されました。

これは、本県の富士川河口断層帯の北端付近から九州の日向灘南西方向までを想定最大震源域として計算を行ったもので、本県の地震対策基礎資料である「第3次地震被害想定」を大きく超えた、発生頻度は低いものの発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの津波」で、静岡県の一部地域では20m超という想定津波高でした。



南海トラフの概略位置
(網掛範囲は強震断層域)



国の「津波防災地域づくりの推進に関する基本的な指針」では、最大クラスの津波が発生した場合でも「なんとしても人命を守る。」という基本的な考えが示されており、ハード・ソフト施策を柔軟に組み合わせ総動員させる「多重防御」という発想により、地域ごとの特性を踏まえ、既存の公共・民間施設も活用しながら、総合的な地域づくりの中で津波防災を効率的かつ効果的に推進することとしています。

また、最大クラスの津波に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす「発生頻度の高い一定程度の津波」に対しては「人命と財産を守る。」ため、津波の内陸への侵入を防ぐ防潮堤や海岸堤防の整備を進める、としています。

県では現在、津波対策検討会議において、この「2種類の津波」への対応を検討しています。

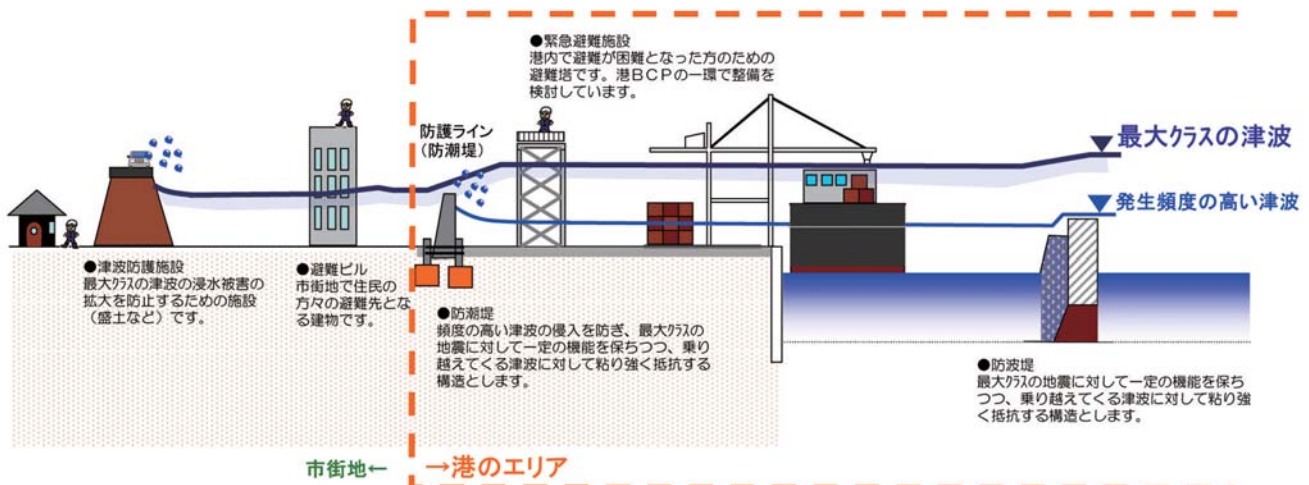
3 港における新たな取組み

東北地方太平洋沖地震での大津波による爪痕は、港湾・海岸施設の今後の整備に関してさまざまな教訓を与えています。

防潮堤・水門・海岸堤防などが、これら施設を乗り越える津波により倒壊したことから、設計上の津波高を越えた場合でも施設の効果が発揮できるような「粘り強い構造」(※1)にすることを検討しています。

同時に、港内に避難経路や避難施設などを設け「速やかな避難」が出来るよう誘導することが重要であると考え、その内容を港ごとに「みなと事業継続計画」(※2)として取りまとめる作業を進めています。

われわれ静岡県交通基盤部港湾局では、港におけるハード・ソフト両面での「津波への新たな取組み」を進めています。



港における新たな取組み(津波対策イメージ)

※1 粘り強い構造

設計対象の津波高を超える津波が来襲した際、施設が破壊、倒壊するまでの時間を少しでも長くする、施設が完全に消失した状態である全壊に至る可能性を少しでも減らす、という減災効果を目指し工夫を施した施設構造のことです。

※2 みなと事業継続計画(港BCP)

頻度の高い津波でも、港内に津波は侵入します。港にいる方々が速やかに港湾区域から避難していただくために避難路、避難施設、誘導看板の設定や連絡体制の構築などをみなと事業継続計画としてとりまとめる作業を進めています。



みなとニュース



静岡県港湾振興会の県外港湾視察研修

平成23年12月19日～21日の3日間、会員団体等から18名が参加し、沖縄県的那覇港・中城湾港・海洋博公園の視察研修を実施しました。

初日は、自由貿易地域那覇地区（那覇港）を視察予定でしたが、航空自衛隊那覇基地所属のF15戦闘機が滑走路を外れるという想定外のトラブルにより那覇空港が一時的に閉鎖したため、富士山静岡空港出発が約2時間遅れ、やむなく視察は中止することとなりました。

2日目からは、好天に恵まれるとともに、各視察先でも担当者からの丁寧な説明をいただき大変有意義な研修となりました。

那覇港では、平成23年8月28日に供用開始された「那覇うみそらトンネル」を通り、大型旅客船バース、公共国際コンテナターミナルを視察しました。

那覇うみそらトンネルは、那覇港と那覇空港を結ぶことで円滑な交通体系の強化、慢性的な交通渋滞の解消を図るために整備された県内初の海底トンネルです。

那覇港は、国内有数の国際クルーズ客船の寄港地であり、毎年60隻近くの客船が訪れます。クルーズ観光の振興を図るため、泊ふ頭若狭地区に客船専用のバース（泊ふ頭8号岸壁）を整備し、平成21年9月より供用が開始されました。現在、旅客ターミナル予定地及び臨港道路の整備が進められ、平成23年から旅客ターミナルの整備事業に取り組んでいます。

空港との連携により更なる発展を図っている那覇港を、今後注目していきたいと感じました。



那覇港旅客バースにて概要説明



那覇港コンテナターミナル



エメラルドビーチ

国営沖縄記念公園・海洋博公園では、美ら海水族館内の会議室にて概要、周辺施設等の説明を受けました。

「太陽と花と海」をテーマとした、沖縄の豊かな自然環境や歴史文化を背景に整備された公園施設を有しており、多様なレクリエーション機能や学習活動の場を提供するとともに、沖縄観光の主要施設として老若男女を問わず多くの利用者が訪れています。

3日目の中城湾港では、IT津梁パークにて、新港地区、特別自由貿易地域、リサイクルポートの概要説明を受けました。

IT津梁パークとは、沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点の形成を目指すビックプロジェクトです。東日本大震災後には、問い合わせが増えたとの話が聞かれました。

特別自由貿易地域（うるま市）は、法人税課税所得の35%控除などの税の優遇や、保税制度が活用できる日本で唯一の「経済特区」となっています。

特区制度のメリットを最大限に活用した港湾等の整備は大変参考になりました。



IT津梁パーク展望台からの眺め

第35回静岡県地方港湾審議会の開催

平成23年12月22日に開催された第35回静岡県地方港湾審議会では、「清水港港湾計画（一部変更）」及び「静岡県地方港湾審議会運営要領の制定」に関する審議が行われました。

「清水港港湾計画（一部変更）」は、とうもろこしなど穀物の輸送船舶の大型化に対応し、バルク（バラ積み貨物）取扱機能の拡充を図ることを目的としたものです。富士見5号岸壁を現行の水深12mから14mへ増深、延長を240mから290mへ改良するとともに、航路・泊地を水深14mへ増深する計画が審議され、承認されました。

また、「静岡県地方港湾審議会運営要領の制定」では、議事録の作成や幹事会の運営などを規定した要領を定めることについて意見等を求め、併せて承認されました。

この他、報告事項として「静岡県港湾の地震・津波への取組状況」、「清水港に関連する最近の話題」についても、説明がありました。

なお、当審議会の承認を受けた「清水港港湾計画（一部変更）」は後日、国土交通大臣に提出され、平成24年3月12日開催の交通政策審議会第48回港湾分科会において適当である旨が認められました。

今後は計画に基づいた施設が早期に完成し、輸送コストの削減が図られるよう、国に要望していきます。



第35回静岡県地方港湾審議会の審議状況



「清水港港湾計画（一部変更）」の変更箇所

西部地区貿易懇談会で清水港をPR

清水港ポートセールス実行委員会は、平成24年2月15日、静岡県西部地域の荷主企業や官公庁関係者等を招待し、浜松市内で西部地区貿易懇談会を開催しました。

最初に、主催者を代表して鈴木与平委員長が挨拶し、清水港の現状と港湾整備計画、新東名高速道路等について触れながら、同港の利用促進を呼び掛けました。懇談会においても、出席した関係者に対し、清水港の一層の利活用をお願いしました。

また、基調講演として、静岡市出身でテレビのコメンテーター等多方面で活躍している東京大学大学院経済学部教授の伊藤元重氏が、「混乱を極める内外経済を見る視点」をテーマに講演し、欧州を始めとする財政・金融の混迷の実態と、こうした状況下において日本の企業が存続・発展するために求められること等を論じました。

実行委員会では、使いやすく魅力ある港づくりを目指して、今後も官民一体となったポートセールス活動を進めていくこととしています。



主催者を代表して挨拶する鈴木与平委員長



多くの参加者を迎えた会場

清水港初!!外国客船2隻同時寄港

平成24年3月10日(土)、清水港日の出埠頭に外国客船「アマデア」と「コロンバス」が、2隻同時に寄港しました。外国客船の2隻同時寄港は、清水港初です。

7時に「アマデア」、8時に「コロンバス」が入港すると、あいにくの雨にもかかわらず、岸壁には多くの客船ファンが集まり、寄港の様子を写真におさめていました。

「アマデア」は郵船クルーズが運航していた初代「飛鳥」で、ドイツの客船となってから初めての清水入港、「コロンバス」も初入港です。

寄港中は、歓迎セレモニーのほか、お茶会、着付け体験、富士山写真展などさまざまな歓迎イベントが開催され、多くの乗客と客船ファンで賑わいました。



外国客船「アマデア」



外国客船「コロンバス」

沼津港最大の祭典、沼津水産祭を開催

平成24年5月19日、沼津港を代表する海のイベント「沼津水産祭」が開催されました。魚食普及、沼津港の賑わい創出を目的に、今年で40回目を迎えています。

沼津港内港にある沼津魚市場イーノと第一市場をメイン会場に、新鮮な水産物やひもの等の安価での特別販売や、その他様々なイベントが行われ6万人の来場者がありました。

体験さかなセリ市では、魚や貝等の水産物を参加者が金額を提示して競り落とす、普段味わえないセリの醍醐味を満喫する様子が伺えたほか、水産物が当たる輪投げやビンゴゲーム、アジの釣堀では、子供達も楽しめるとあって長い行列ができ大人気でした。その他、炭火焼きしたサンマの販売やひもの試食販売、大漁うしお鍋の販売、朝獲れ生しらすの試食等、焼き立て、できたて、獲れたての新鮮で豊富な沼津の水産物を堪能できる催しとなりました。

また、沼津港外港では、海上自衛隊掃海艦「やえやま」と「はちじょう」が接岸し、船内の一般公開や体験航海が行われ、こちらも大勢の見学者で賑わいました。



大盛況だった「体験さかなセリ市」



海上自衛隊掃海艦の前での歓迎式典

万葉歌碑 山部赤人『富士山を望む歌』の移設

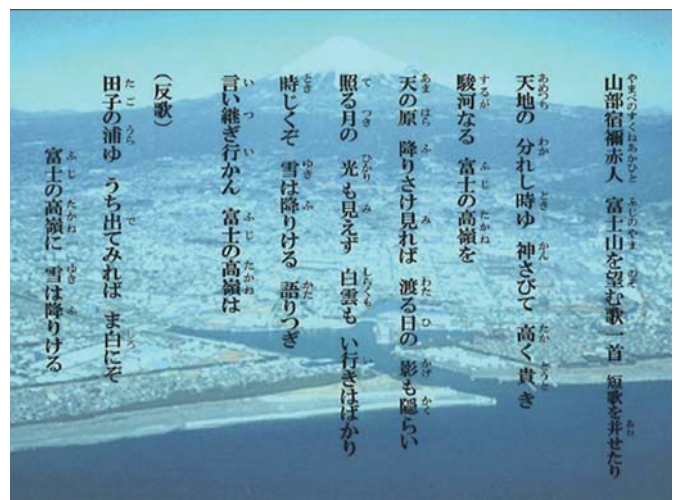
平成24年3月4日、田子の浦港で海辺の体験交流拠点として整備を進めている「ふじのくに田子の浦みなと公園」内に、当公園のシンボルとして、また富士山世界文化遺産登録に向けた取り組みと関連プロジェクトとの連携による交流拠点づくりの進展を図るため、富士市が所有する万葉歌碑を移設し、その除幕式が川勝静岡県知事、鈴木富士市長をはじめ多くの人びとが参加する中、盛大にとり行われました。

この歌碑は同市南松野産出の松野石（通称 俵石）の石柱8本を富士山型に配置したもので、万葉歌人山部赤人が富士山を詠んだ歌「田子の浦ゆ 打ち出でてみれば 真白にぞ 富士の高嶺に 雪は降りける」という短歌とともにその長歌「天地の分かれし時ゆ 神さびて 高く貴き 駿可なる 富士の高嶺を…」が万葉仮名で刻まれています。元々、富士市観光の振興発展を祈念して、昭和61年当時、田子の浦港と土肥港とを結ぶフェリー乗り場・富士埠頭に建立されたものですが、その後のフェリー撤退により周辺が寂れたことから、地元から同公園への移設の要望が上がっていました。

当日は曇りがちの天気で、富士山を見ることはできませんでしたが、式典では県が募った「富士山万葉集」に選ばれた市内在住の20人が、それぞれの富士山への思いを詠んだ短歌を歌碑の前で披露した他、地元田子浦地区の「鮫島まとい・太鼓保存会」による勇壮な演舞や、花火などが集まった人びとの目や耳を楽しませていました。また会場には田子の浦港のパネル展をはじめ、富士山世界文化遺産登録に向けた取り組みなども展示され、今後この公園が地域発展の核となることを予感させる内容となっていました。



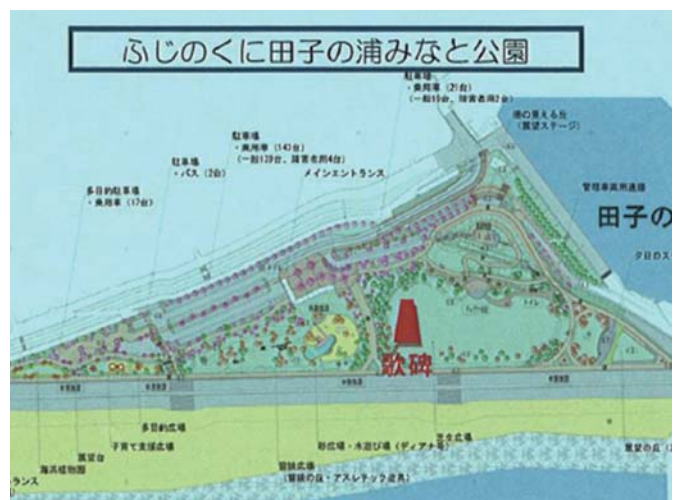
川勝静岡県知事ほか関係者による除幕式の様子



山部赤人が詠った「富士山を望む歌」



地元の人々による勇壮な演舞



歌碑が移設された「ふじのくに田子の浦みなと公園」

みなと“白慢”

伊東市
都市計画課

～伊東マリンタウン～

1. はじめに

地方港湾「伊東港」は、国際観光温泉文化都市伊東の海の玄関口として、市街地の前面に広がる白石、湯川・松原、玖須美地区と市街地から南にやや離れて位置する川奈地区に分かれています。

このうち白石地区は、伊東港白石マリンタウンプロジェクトによりマリーナや商業・観光施設が整備され、平成13年7月のオープン以来、伊東の新たな海辺観光・海洋レクリエーション活動の拠点として、多くの市民や観光客でにぎわっています。また、湯川・松原地区は、海水浴場やイベント広場として多目的に利用されており、市民・観光客の交流の場となっています。さらに玖須美地区は、漁業の基地の顔を持つとともに、初島への定期航路や伊豆諸島近海の島々への貨物船が利用する本港としても活用されています。

一方で、市街地からやや離れている川奈地区は、古くから漁業の基地として利用されてきましたが、近年「いるか浜公園」が整備され、新たな海水浴場としても人気を集めています。



伊東マリンタウン全景

2. 白石地区 道の駅、海の駅 伊東マリンタウン

白石地区に位置する伊東マリンタウンは、今年で開業11年目になりますが、開業2年目の平成14年8月に国土交通省が所管する「道の駅」に登録されて、今年で10周年を迎えます。

また、同時期に開業した伊東サンライズマリーナは、平成17年3月に「海の駅」として供用を開始しました。「道の駅」と「海の駅」を併設した施設は、全国にも類がなく、太平洋を間近に望むウォーターフロントのロケーションに陸のアクセスと海のアクセスの利便性を取り入れたにぎわいの場となっています。



伊東マリンタウンからの花火

目の前に、海を行き交う遊覧船やヨットの光景を楽しむことのできる伊東マリンタウンでは、宿泊の案内、飲食・お土産、立ち寄り温泉に加え、伊豆地域の観光イベントの情報も提供しています。

また「海の駅」である伊東サンライズマリーナは、開業以来、今日まで延べ5,000隻余の外来艇を受け入れるなど、伊東をはじめ伊豆東海岸における陸と海をつなぐ懸け橋として、その役割を担っています。



海の安全講習会



ヨットの体験乗船会



オーナー同士のヨットレース

この伊東サンライズマリーナは伊豆東海岸最大規模を誇り、毎年、海上保安庁などと協力して、海の安全講習会をはじめ、地元小中学生を対象にしたヨットの体験乗船会、オーナー同士で腕を競い合うヨットレースや釣り大会が開催され、伊豆の海洋レジャーの発展と振興に尽力してきました。

さらに、マリーナを眺めながら最大70人が一度に利用できる、関東最大級の足湯「あったまりーな」、愛をコンセプトに造られた防波堤遊歩道「マリンロード」、夕暮れから行われる水中からのライトアップなど、伊東サンライズマリーナは身近に「海」を感じることもできる数々の演出を行い、その魅力を絶え間なく発信しています。



マリーナを眺めながらの足湯「あったまりーな」



水中からのライトアップ

これからも、伊豆の海という素晴らしいロケーションをはじめ、数多くの魅力を多くの方々に知っていただき、伊豆の海洋レジャー振興に努めてまいりたいと考えております。また、海に関連したイベントを継続的に行い、子どもたちを中心に若い世代がもう一度「海」に親しみを持てるような取組みも積極的に進めてまいります。

3. お問い合わせ先

伊東マリンタウン株式会社 営業部
TEL:0557(38)8841
HP:<http://www.ito-marinetown.co.jp>



海の生物とのふれあいの様子

～港こぼれ話～

清水港日の出地区（清水船溜） 再開発の思い出

元静岡県御前崎土木事務所技監兼企画検査課長
元静岡県農業水産部漁港整備室長
池田 稔



私の県での最初の職場は、日の出地区にありました清水港管理事務所、昭和45年度から勤務しました。当時はすでに、急激な物流の増加に対処するため、興津地区などでコンテナ貨物をも対象とした埠頭の整備が進められていましたが、まだまだ日の出埠頭が港湾物流の中心地であり、隣接する清水船溜は対岸の貝島や塚間地区の臨海工業地帯で働く人たちの通勤ルートとなっており、路面電車で港橋、それから港町商店街を歩き清水船溜から塚間まで渡船で通勤していました。また松崎港との定期航路が開設され、清水港線の清水港駅もあり清水船溜は多くの人々に利用され、大衆食堂、居酒屋、売店が繁盛し、パチンコ屋さんもありました。森進一の港町ブルースの歌詞には清水港は入っていませんが、この歌が似合う「賑わいある巷」が形成されていたと思います。

しかしながら、その後興津、袖師埠頭の整備の進捗に伴い港湾物流機能の重心が両埠頭に移り、日の出地区は施設の老朽化も加わり港湾活動の低下や臨港線の廃止などにより日の出地区全体が衰退し、更に清水船溜及び背後の港町商店街も臨海工業地帯の低迷や通勤手段の変化などによる利用人口の減少に伴い店舗の閉鎖など地盤沈下が起こりつつありました。

このため旧清水市は独自で港町商店街周辺の活性化を図るため、港と共に発展してきた商店街であることから臨港地区内の清水船溜周辺を含めた区域の都



土地利用計画図

市機能や港湾機能の向上を図るべく再開発調査を計画したが、臨港地区内の調査でもあることから、港湾管理者である県が清水市と協働で昭和61年度に「ポートルネッサンス21」調査を実施しました。

この調査の結果、再開発の基本方針は、港湾に対する背後都市の要請、市民ニーズへの対応を図るため、親水性を生かした、魅力ある商業施設などを導入して「賑わいと出会いの空間」を形成し、背後商店街にも好影響を与えることとしました。

臨港地区内の計画面積は約9haで、土地利用計画は下表のとおりです。

これらの土地利用計画は既存の公共用地に加え、公有水面埋立、旧国鉄用地、民有地の取得、港湾関係企

表-1 土地利用計画 計画面積約9ha（うち埋立地3ha）

ゾーン別	導入施設	面積(m ²)
多目的広場・親水緑地ゾーン	広場・緑地	25,500
駐車場ゾーン	駐車場	13,500
中心的施設ゾーン	ポートターミナル	1,750
民間ゾーン	ウォーターフロントマーケット	8,850
	商業・住宅施設	23,450
その他	道路・エプロン敷など	15,600



清水港日の出地区(平成24年2月撮影)

業用地などの土地を利用しました。

この再開発の工事は昭和63年度から始まり平成12年度に概成しましたが、この工事の大きな特色は県、市、地元港湾関係企業が各導入施設の建設をそれぞれが単独で事業主体となり進めたこと、またそれにも係らず利用面からも景観的にも優れた調和のとれた空間が創出されたことだと思います。平成11年には第12回静岡県都市景観賞を受賞しています。

県が行った緑地工事で個人的に思っておりますホームランは、未利用となっていた錆だらけのテルファー(木材積込機)をモニュメントとして再利用したことです。昭和3年に建設され長い年月使用に耐えた骨太な鉄骨がかもしたず雰囲気は見る者に勇気と感動を与えるものと思っています。平成12年には、歴史的建造物として有形文化財に登録されました。



昭和3年建造のテルファークレーンをモニュメントとして再利用
(マリンパーク)

少し余談になりますが、県が担当した緑地の一部は公有水面を埋立て整備しましたが、この埋立てる海域の一部に旧清水市所有の土地が存在することが当時判明しました。どのような経緯で旧清水市が海面下の土地を所有することになったのか不明で、旧清水市と議論を重ねましたが公有水面と判断せざるを得ず、旧清水市の御好意により海面下の土地を滅失登記していただき、埋立免許を取得することが出来ました。

余談が続きますが、昨今スカイツリーが注目を集めておりますが、日の出地区再開発でも、実現は見なかったものの開港100周年を意識した高さ100m程度のタワーの建設を真剣に議論した時期がありました。港のシンボル、展望台による賑わいの創出、平成11年に迎える開港100周年記念などを設置目的として検討されましたが、展望台としては日本平が優れている、膨大な建設費と採算性がネックとなり立ち消えたものと思っています。



通勤にも利用されている水上バス(日の出)

最後になりますが、塚間の渡しは現在、水上バスとして(株)エスパルスドリームフェリーが運営しています。日15便運航し日軽金やかなざし重工の方々などの通勤に日100名程度利用されているとのこと。営々と塚間の渡しが営まれていることを知り、懐かしくさっそく水上バスに乗ってきました。

思いつくままの雑駁な文をお読み頂きありがとうございました。

港湾関係 行事予定 (平成24年8月1日～平成25年1月31日)

日 程	内 容
8月1日(水)～平成25年1月31日(木)	海湖館朝市(湖西市)
8月1日(水)～8月4日(土)	あたまビールフェスティバル(熱海港 親水公園)
8月3日(金)～8月5日(日)	清水みなと祭り(8/3・4港かつぼれ総おどり、8/5海上花火大会)(静岡市)
8月3日(金)※・8月5日(日)・8月8日(水) 8月16日(木)※・8月19日(日) 8月25日(土)・8月26日(日)	夏季熱海海上花火大会(熱海市 熱海港) (※3日は熱海市 伊豆山港 ※16日は多賀湾及び網代港)
8月5日(日)	御前崎みなと夏まつり2012(御前崎市 マリンパーク)
8月8日(水)	弓ヶ浜花火大会(南伊豆町湊 弓ヶ浜海岸)
8月10日(金)	按針祭海の花火大会(伊東市 伊東港海岸)
8月10日(金)	相良海上花火大会(牧之原市 さがらサンビーチ)
8月14日(火)	焼津港海上花火大会(焼津市 焼津港外港)
8月14日(火)～8月15日(水)	安良里夏まつり(西伊豆町 安良里港)
8月15日(水)～8月16日(木)	田子港祭り(西伊豆町 田子港)
8月18日(土)	えんばい朝市(浜松市 舞阪漁港 魚市場)
8月18日(土)～8月21日(火)	土肥サマーフェスティバル(伊豆市 土肥港湾内)
8月19日(日)	沼津千本浜トライアスロン大会・チームケンズカップトライアスロン駅伝大会(沼津市 千本浜)
8月20日(月)・8月21日(火)	伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会(熱海市 伊豆山港)
8月24日(金)～8月26日(日)	ウミガメ放流観覧会(御前崎市 下岬海岸)
8月25日(土)・8月26日(日)	弓ヶ浜ビーチパレーフェスタ(南伊豆町湊 弓ヶ浜海岸)
8月25日(土)・8月26日(日)	WIND BLOW(ウインドブロー)(牧之原市 相良シーサイドパーク)
9月1日(土)	客船「飛鳥II」入港(静岡市 日の出埠頭)
9月1日(土)～10月27日(土)	熱海湾ファンタスティッククルーズ(熱海港 毎週土曜日)
9月8日(土)・9月9日(日)	日本国際オープンウォータースイミングレース大会(南伊豆町湊 弓ヶ浜海岸)
9月8日(土)・9月9日(日)	ビッグシャワー海洋浴の祭典(下田市 吉佐美大浜海岸)
9月9日(日)	夕映えの響き(西伊豆町 宇久須港内クリスタルビーチ)
9月30日(日)	第12回田子の浦漁協しらす祭(富士市 田子の浦漁業協同組合)
10月7日(日)	アクアスロン大会(南伊豆町湊 弓ヶ浜海岸)
10月7日(日)	清水港マグロまつり(静岡市JR清水駅みなと口周辺)
10月25日(木)	港湾を考える全国集会(砂防会館)
11月18日(日)	マリンパークマラソン(予定)(御前崎市 マリンパーク)
11月18日(日)(予定)	千本浜ファミリーマラソン大会(沼津市 千本浜防潮堤)
11月24日(土)～11月28日(水)	帆船「日本丸」入港(静岡市 日の出埠頭)
12月2日(日)・12月9日(日)・12月24日(月)	忘年熱海海上花火大会(熱海市 熱海港)
12月22日(土)	とっておき冬花火大会(伊東市 伊東港海岸)
平成25年1月1日(火・祝)	初日なぶらイベント(御前崎市 観光物産会館)
平成25年1月2日(水)	漁船乗り初め(西伊豆町 仁科港・安良里港)

編集後記 |

平成24年度最初の「静岡みなと通信」をお届けします。
静岡県交通基盤部港湾局長の異動に伴い、当振興会事務局も新体制となり、新たな気持ちでスタートしました。今まで以上に、会員の皆様の役に立つ活動に取り組んで参りたいと考えておりますので、今年度もどうぞよろしくお願ひします。
ご意見・ご感想がございましたら、ぜひお寄せください。(K.H.)

当会では、会報誌面充実のため皆様からの港に関する情報やニュース・寄稿をお待ちしています。
関係団体の活動、イベントPRなど…どんな些細な事でも構いません。詳しくは下記連絡先までご連絡ください。

静岡みなと通信

編集・発行 静岡県港湾振興会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部港湾局内
TEL.054-221-3052 FAX.054-221-2389 E-mail:shizu.kouwan@gmail.com